秋田緑ヶ丘病院広報誌

たけのこ

2011 MARCH 3／第14号

医療法人 久盛会
秋田緑ヶ丘病院

〒011-0911 秋田市飯島字堀川84番地　TEL (018) 845-2161　FAX (018) 846-6942
ホームページ http://www.kyusei.or.jp/

理念

友情を図り、「生きる喜び」と「希望」を育み、
「安全・安心・信頼の医療」を実現します。

指針

1. 医療の安全と質の向上に努め、患者さんに信頼される医療を提供します
2. 医療人の育成を図り、医の倫理の高揚に努めます
3. 患者さんの人権と個人の尊厳を守り、親切、丁寧な医療サービスに努めます
4. 社会の変化・医療の進歩に対応できるよう自ら研鑽に努めます
5. 医療を通して、地域社会の一員として貢献できるように努めます
6. 精神障がいに対する偏見や誤解の解消に努めます

新デイケア棟外観

精神科入門

医局　川村　伸悟

このたび、縁がありまして皆様と仕事をさせて頂くこととなりました、川村と申します。慣れないことなどもありますので、どうぞ宜しくお教え下さいますよう、お願い致します。

小生は、県北の生まれで、SL時代に能代高校に通っておりました（同じ汽車にのちの妻もおりました）。当時の秋田県では、日本で最も脳卒中が多発しておりました。そこで、大学卒業後、脳卒中などを学ぶために、すぐに秋田に戻ってまいりました。その後の30年間、脳神経外科を学んでまいりました。多くの患者さんで神経症状が改善または完治されたのですが、残念ながら、一部の方は寝たきりになるなど不幸な転帰をとられました。小生には、よく治らなかった方々の印象がより強く残り、精神的にもつらいものがありました。一方、脳卒中慢性期治療の主眼は再発予防にありますので、高血圧、高脂血症、糖尿病などの危険因子のコントロールに努めますが、どうしても、加齢という危険因子は除外できません。患者さんの経過が長くなってまいりますと、脳卒中を繰り返し、階段状にADLが悪化してゆく方が稀ならずおられます（脳血管性認知症などに起因する）。

最近の10年間は、地域医療に重点をおいた仕事に携わってまいりました。患者宅への訪問診療や介護認定審査会への参加などの経験から、高齢化、老人の一人暮らし、老老介護、認知症などの問題が深刻であることを実感致しました。必要に迫られ、老人医療を中心とした、いわば老年内科といえる診療も行うようになってまいりました。

今回は、幸運にも当院にめぐり会うことができ、職員になることができました。そして、改めて精神科を本格的に学ぶことにより、今後、どこまで社会貢献ができるか、チャレンジしてゆきたいと願っております。できますれば、明るい職場となりますよう、皆様と共に仲良く、楽しく仕事をしてゆきたいと存じます。宜しく、お願い致します。

病院祭

作業療法士
石川　麻裕

今年度の病院祭は2部制で行われ、1部が12月12日、2部が1月12日に開催しました。1部はクリスマスらしい豪華な食事、2部は催し物を楽しむ会という内容でした。

そして2部の午前は、患者さん5名と作業療法科スタッフとで結成された合唱グループ「ハスキー」による発表が行われました。「あの素晴らしい愛をもう一度」や「夜空のムコウ」など、誰もが知っている馴染みのある曲を3曲披露してくれました。1人1つのマイクを使用して歌ったということもあり初めは緊張も見られましたが、活き活きとした良い表情で歌っていました。メンバーが歌を楽しんでいるのが会場全体に伝わり、温かい拍手が送られていました。

また、もうひとつの催し物としてカラオケグループ「響」によるカラオケが披露されました。プロさながらの歌に患者さんは聴き入っているようでした。

午後からはブロンズの皆さんをお招きし演奏会が行われました。ブロンズは由利本荘市を拠点とするバンドで、スイスで開催された「モントルージャズフェスティバル」に東北でも初めて参加されるなど、日本を代表するバンドということもあり、患者さんも楽しみにされていました。

サックスやギターに和太鼓、琴という和の要素を取り入れた楽曲は力強く、演奏者のエネルギーが伝わってきました。曲については「ジャンルはブロンズ」と言われているように、曲の雰囲気はロックともジャズとも一言では言えない独特のものですが、初めて聞いたのにも関わらず一瞬にして会場全体が曲に引き込まれてしまいました。患者さんも、曲に合わせて自然に手拍子をしたり体を揺らしたりと、会場全体がブロンズの演奏で一つになり大いに盛り上がりました。患者さんの中には手拍子だけでは足らず、席から立ち上がり演奏に合わせて踊るなど、体全体で曲を感じ、演奏を楽しまれていました。

演奏後、会場からは大きな拍手が送られ、患者さんからも「感動した！」「ファンになった！」という興奮気味な感想が聞かれました。このような有名なバンドの滅多に聴くことが出来ない生の演奏を聴くことが出来、患者さんにとってとても有意義な病院祭になったようでした。

医療機能評価認定

当院は現在考えうる最良の医療と患者サービスを目指し、病院機能評価にチャレンジしました。病院機能評価とは、診療内容、療養環境、患者サービスの質などを第三者機関が審査し、一定水準に達している病院に認定証を発行する制度です。そして平成22年12月３日に㈶日本医療機能評価機構が行う病院機能評価において、民間精神科病院として秋田県内初の認定を受けることができました。

機構が求める多岐にわたる調査項目から自己評価により改善すべき問題点を抽出し、効果的で具体的な改善目標を設定しました。管理者も各部門の現場も改善意欲が向上し、全職員が一丸となってその目標に取り組みました。自分たちが行っている医療を客観的に患者さんの立場で検証していく中で、改めて当院が目指すべき方向を見出し、現実化していくことが出来ました。

当院は病院機能評価と同様に、患者さん・ご家族からも合格という評価をしていただけるよう、今後も診療内容、療養環境、患者サービスの質の向上につとめて参ります。

薬局だより

薬剤師　**石川紀代子**

最近、よく使われている薬、口腔内崩壊錠について述べたいと思います。

口腔内崩壊錠とは、口の中で溶かして飲むことの出来る錠剤で、Ｄ錠とかOD錠という名前が付いている薬が多いです。ちなみにOD錠のODとはOrally Disintegrationの略で口の中で壊れるという意味です。

物を飲み込むことが困難になってしまったお年寄とか、まだ錠剤を飲めない小さなお子さんとか、経管栄養を行っている患者さんとか、口の中で溶かして、水なしで飲めるので大変便利なお薬です。現在、胃腸薬・アレルギーの薬・血圧の薬・糖尿病の薬・吐き気止め・アルツハイマー型認知症の薬・前立腺肥大症の薬・睡眠薬・片頭痛の薬などいろいろな薬に使われてきています。当病院でもガスターＤ錠・タケプロンOD錠・エバスチンOD錠・アレロックOD錠・アムロジンOD錠・ボグリボーズOD錠・アリセプトＤ錠・ジプレキサザイディスなどのお薬を使っております。

これからも、いろいろなタイプの薬が開発されて、もっとたくさん使われるようになります。

東京都町田市

高齢者複合施設

秋田高城体験記

高齢者複合施設「秋田高城」に出向して

西2病棟　田口　良子

7月11日から10月16日まで東京都町田市の高齢者複合施設「秋田高城」に出向して参りました。医療から福祉の場へ行き、その違いを経験させて頂き貴重な機会を与えて下さった理事長、院長、本部長、事務部長、看護部長、病棟スタッフ、病院関係者には深く感謝申し上げます。

私が所属した小規模多機能ホームは地域密着型の在宅介護保険サービスで、訪問、通い、泊りの3つのサービスを提供する施設でした。宅老所が前身です。利用者さんの都合に合わせて送迎し、施設では趣味やリハビリ、入浴、食事をして過ごされます。車椅子の利用者さんは自宅から寝たままの姿で迎えに来てもらい帰りには又パジャマに着替えてもらってそのまま自宅のベットに寝かせて貰える便利なサービスでした。住み慣れた地域で、家庭的で柔軟に対応できる小規模多機能サービスは、将来的にニーズが高まって行くのではないかと感じてきました。利用者さんの平均年齢が84歳で病棟では患者平均年齢が65歳でしたので、想像以上の年齢のギャップに驚き、高齢者の健康管理には多様な面で気を遣いました。昨年の夏は連日猛暑が続き、東京では例年に無く熱中症死亡者が100人となりました。秋田では考えられない事態でした。在宅訪問のヘルパーさんも施設のスタッフも利用者さんの脱水予防に努め、私も多飲で失禁される方の水分管理、指導をして夏場を乗り越えました。他に刺虫症や湿疹、足白癬の方も度々出るのが特徴的で、受診を勧め、在宅や施設の感染対策も行いました。眩暈、嘔気、便秘を訴える方々もいましたが大概は手持ちの薬や様子観察で済む状態でした。家族とは連絡帳を通して健康管理について説明し、微力ながらも理解されるよう努力して参りました。出向中、グループホームも少し経験しましたが、運動量の少ない入居者に小規模の時のリハビリ指導を活かしてみたところ、無表情の認知症の方が少し微笑み、動きや発語に活気が出てきた時には驚いて、人間の潜在能力を垣間見て、継続すること、諦めないことを教えて頂いたような気がいたします。嬉しくなりました。高齢者が、このような介護施設を利用して残存能力を活かして楽しく過ごせる事は幸せであり、私も人生の先輩に接して勇気づけられました。そのような意味でも良い経験をしたと思います。

プライベートでは猛暑続きで出歩くことは少なく、夕方涼しくなってから買い物や散歩に出ました。人口40万の町田市は、駅周辺は大変人通りが多いのですが、施設周辺は静かな所でした。周辺の景色は住宅地でありながら畑や公園も所々にあり、散歩が楽しみだった私は、飽きずに景色を眺めることができました。街並みも素敵で、とても癒されました。東京見物はできませんでしたが、10月に1回、町田市に近い横浜に遊びに行くことが出来ました。また、理事長のお心遣いにより六本木と銀座で食事に連れて行っていただきました。六本木の高級鉄板焼店の「瀬理奈」では、一流シェフの巧みな手さばきによる高級料理の味と香りを堪能することができました。ちなみに私の座った席は、某総理大臣が座った席だというので思わず立ち上がってしまいました。銀座の高級寿司店「久兵衛」では、穴子の肝や鮪などを御馳走になりました。ネタが新鮮で唯々唸り声しか出ませんでした。他に納涼会での高級中華料理も上品で美味しく頂きました。秋田にはない「あさりラーメン」も、さっぱり味で美味しかったです。全てが夢のような思い出となり感謝致しております。

今回の出向では理事長、本部長、事務部長、看護部長、そして高城のスタッフ、利用者さんに温かく見守って頂いて任務を終えることができました。高城に先に出向された先輩達にも御指導頂き有難うございました。

ちなみに、私ごとですが、今回の出向によりお蔭様で35年ぶりに自転車に乗ることができました。些細なことですけれども自分を信じる勇気が出ました。東京での思い出や関わった多くの人達のエネルギーを糧に、これからも頑張って行こうと思います。

本当に貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。

デイケア新築

デイケア科 科長
菊地　敏行

平成23年1月4日より、新デイケア施設が完成し稼働開始しております。当院において精神科デイケアを開始し、19年の歴史の中現在の施設は新築、増築を含め第4番目にして最大規模の広さを有しております。

新デイケア施設は過去の経験を生かし、活動エリアの広さもさることながら、その機能的な面も大幅に改善され、大グループでの活動と小グループでの活動が同時に行えるように工夫されております。ホールには6人掛けテーブル6台を置き、ゆったりとした空間の中で全体ミーティングやお楽しみ会、ストレッチ体操、スロートレーニング、時には大スクリーンによる映写会、カラオケなどの活動を行っております。また、ホール後方の柔らかい日差しの入る位置に卓球台を常設しており、いつでも軽スポーツが楽しめます。

南面の日当たりの良い位置に調理室があります。そこでは一人暮らしの方やこれから単身生活を考えている方、料理が苦手な方への料理教室を実施しております。調理室には家庭用のキッチンが両サイドに1台ずつ配置され、料理を覚えたい利用者が自分のペースで調理し、また自宅での応用も出来易いように配慮された造りとなっております。

さて近年、社会は情報化が進みパソコンを介しての交流や情報取得が当たり前のような時代となってきました。新たなデイケア施設では独立したAVルームを設けインターネットに常時接続したパソコンを3台設置し、自由に使える環境を提供しております。そこではパソコンを使ったことのない方々に対しての超初級講座を開催し、パソコンの使い方や楽しみ方などをそれぞれのペースに合わせ身に着けていくことができます。

まだまだ紹介すべきことはありますが、秋田緑ケ丘病院の精神科デイケアは様々な利用者のニーズに沿えるような形に進化し、利用者の地域生活を支え、再発防止に努め、生きる喜びを育む施設となりました。いつでも見学等には対応しますので、お気軽にご連絡下さい。秋田緑ケ丘病院西館横の広々とした芝生の広場の一角に自然と溶け込むように建つ施設が新デイケア施設です。

職員研修旅行へ行ってきました。

平成23年２月９日～12日までの４日間、院長をはじめ当院15名の職員が、沖縄県沖縄市にある「医療法人　卯の会　新垣病院」へ視察研修に行ってきました。日程２日目、当院と新垣病院様とのグループワークを行い、沖縄の精神医療についても大いに学ぶことが出来ました。新垣病院スタッフの皆様方、ありがとうございました。

外来診療のご案内

精神科・心療内科・内科・麻酔科

◆初診の場合

〈受付時間〉午前　8：45～11：30まで
〈受付窓口〉受付・総合案内へ
〈診療時間〉平日（土曜日は午前中のみ）
9：00～12：00／14：00～17：00
但し、救急の場合はその限りではありません。
（午後に予約制による診察を行っています。）
※内科は土曜日休診、麻酔科は平日午後・土曜日休診。
〈必要なもの〉　保険証
※受給証をお持ちの方は併せて受給者証を提示してください。

◆２回目以降受診（再診）の場合は

〈受付窓口〉外来・再診受付へ
〈必要なもの〉診察券と予約券

◆専門外来について

「うつ・ストレス外来」「女性専門外来」「思春期外来」「もの忘れ外来」「睡眠障害外来」「てんかん外来」「ＰＴＳＤ外来」「頭痛外来」こちらの外来診療については完全予約制となりますので受付までお電話下さい。

毎月１回は保険証の確認をさせていただきますのでご提示願います。

クレジットカードでの支払いが可能です

サービス向上の１つとして、診療費等の支払いについては、JCB、AMERICAN EXPRESS、VISA 及び MasterCard の４ブランドのクレジットカードがご利用できます。クレジットカードが利用できることにより、支払方法の選択肢が広がるほか、現金の持ち合わせがなくても安心して受診できるようになります。

こんにちは。新人です！

訪問看護ステーション　佐々木知美

1月から訪問看護ステーションに異動になり、1ヶ月が過ぎました。訪問看護は未知の世界だったので不安でしたが、先輩達に支えられ、あっという間の1ヶ月でした。

訪問看護を行ってみて、身体や精神に疾患を持ちながらも地域で生活している一人暮らしの人（高齢者）の多いことに驚きました。訪問看護、ヘルパー、他各種サービスを利用しながら何とかその方達の生活が守られていることを現場に入って痛感しました。在宅で生活している療養者さんとその家族を支えていくという重要な役割があり、奥が深い訪問看護に少しずつ魅力ややりがいを感じているこの頃です。

これからも先輩達に教わりながら経験を積んで、待ってくれている療養者さんや家族の力になれるよう頑張っていきたいと思います。

編集後記

３月ですね。今年度を振り返ると、多くの動きが当院であったように感じます。今回の広報誌にも掲載されている新デイケア施設や、医療機能評価認定…目を閉じれば思い返すことが沢山あります。皆さん目を閉じてみてください。

Q&A

Q 今日の午後、お茶会にてお薄を頂き、至福のひとときを持ちました。今度は、是非書道も教えてほしい。

A ご意見、ご感想、有難うございます。書道の件ですがが、作業療法エリアには書道道具の他に、筆ペン、ボールペンの練習本などもあります。お気軽にお声を掛けて下さい。今後も皆さんのご意見を参考にプログラムを進めてまいります。

Q インフルエンザ予防強化のため、病室掃除の際は、換気のため窓を開けて掃除機を掛けた方が良いと思いますが……。

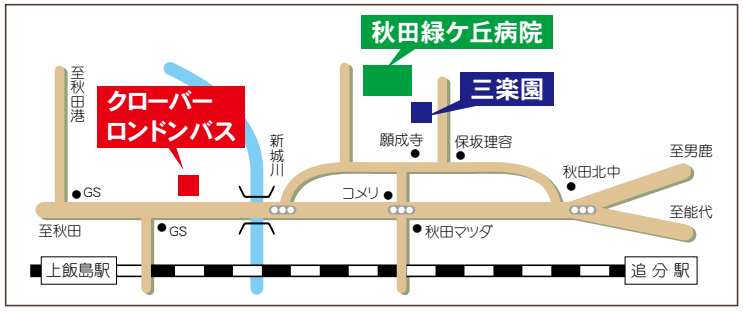
A 換気に関するご意見ですが、ノロウイルス・インフルエンザ予防強化月間は、１日２回の拭き取り消毒を行っており、その都度換気することとしています。室温調整はいたしますが、10分程度窓を開け換気する行為についてご了承下さい。

今後とも不備な点などがありましたら遠慮なくご指摘下さい。

１年目を振り返って

作業療法士　**三浦　寛右**

作業療法士として働き始めて、もうすぐ１年が経とうとしています。仕事を始めてからは失敗ばかりで、先のことを考えては不安に感じ、ひどく落ち込んでいました。それでも、今こうして仕事をしていられるのは、先輩方が支えてくださったおかげであり、先輩方の指導やアドバイスがあったからこそ、日々の課題を一つずつ乗り越えてくることができたと思っています。また、野球の試合やゴルフのレッスン等を通して、他部署の方々とも触れ合う機会を頂き、多忙ながらも充実した日々を送っています。

今年は社会人として１年目であり、自分自身について考えさせられることが非常に多かったと思います。なかでも強く感じるのは、学生時代の経験や努力を上手く仕事につなげることができていないことです。学生時代は点数や評定ばかりを気にし、自分のためだけに勉強していたような気がします。いざ臨床の場で課題に直面したとき、何もできない自分に気が付き、勉強することがその先にある患者さんのためという気持ちが薄かったと深く反省しています。専門職としての知識や技術を身に付けるのはもちろんですが、その前に患者さんを知る努力を決して怠ってはいけないことを強く実感しました。その為にも、日々のコミュニケーションを大事にして仕事に取り組んでいきたいと思います。

来年度からはもう新人ではなくなるので、自覚と責任を持って行動し、自分らしさを出せるように努めていきたいと考えています。また、経験を積んだからといって、決して自分本位になるのではなく、周囲に感謝できる人、そして初心を忘れずに何事にも取り組めるような人でありたいと思います。まだまだ未熟者ですが、これからもご指導よろしくお願い致します。